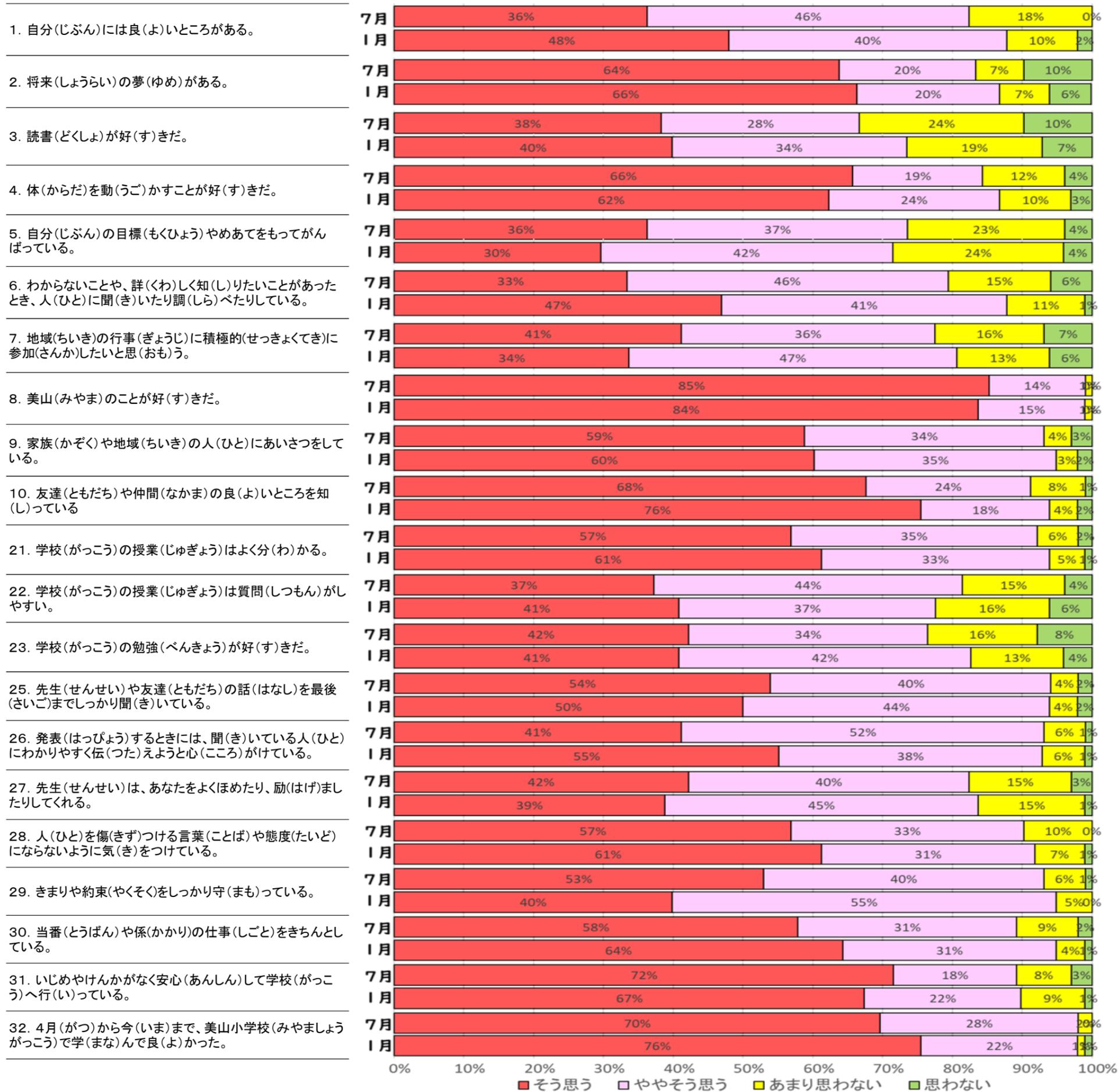


令和7年度 児童アンケート集計結果(7月・1月実施比較)



1月の児童アンケートでは、全体的に肯定的な回答が高い水準となりました。特に「8 美山のことが好き」が99%、「32 この学校で良かった」が98%と、非常に高い肯定的回答率となりました。

7月の結果と比べると、いくつかの設問で大きな伸びが見られます。「1 自己肯定感」が6%、「2 将来の夢」が2%、「3 読書」が8%、「6 主体的に学ぶ」が9%、「21 授業理解」が2%、「23 勉強が好き」が7%増加しました。

学習に関わる項目で肯定的回答が増えていること、また、これまで課題とされていた“自己肯定感”にも向上が見られることから、児童を主体(主役)とした授業改善や人権教育の取組が着実に実を結んでいることがうかがえます。

一方で、「5 自分の目標」や「22 質問のしやすさ」の肯定的回答率は80%未満であり、今後の重点目標と考えています。授業や各種の取組の前後に、児童がしっかりと目標をもち、ふり返しを行う時間を確保すること、また、支援員や担任以外の教職員も積極的に授業をサポートしたり、空き時間に特別教室を学習ルームとして活用したりすることで、「質問しやすい環境づくり」を進め、改善につなげていきたいと考えています。

そのほか、「就寝時刻」で“夜10時以降に寝る児童”がやや増加していることや、「平日のゲーム・動画視聴」も増加傾向にあることなど、生活面で気になる傾向も見られました。学校による啓発・指導に加えて、PTAの皆さまとも協議しながら、児童にとってより望ましい生活習慣づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

自由記述では、「心配なことや悩み」において、人間関係や安全面(言葉遣い・けんか等)に関する不安に触れている児童が数名いました。また、学習のつまずきに対する不安を抱えている児童もいました。7月と比べると件数自体は減少していますが、これからも教職員の誰もが子ども達にとって安心して相談できる存在となるよう意識し、児童の日々の変化に目と心を向けながら、心身ともに健やかな美山っ子の育成に努めてまいります。